

1 社会科研究主題「自ら学ぶ意欲と主体的な学習の仕方を身につけさせる指導方法の工夫」

2 単元名 世界各地の人々の生活と環境（人々の生活に根ざす宗教）

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の地理的分野（1）のイにあたる学習である。「(1) 世界の様々な地域」は、世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を主な学習対象とし、世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解させる学習を通して、世界の地理的認識を養うことをねらいとしている。このねらいを達成させるために「イ、世界各地の人々の生活と環境」では、世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させることを目的としている。

学習には多くの視聴覚資料や各種主題図を活用し、事例として取り上げられた地域と同様の暮らしが見られる地域を地図上で確認したり、伝統的な生活と現在の生活を比較したりして進めたい。また、具体例を取り入れ、人々の生活の様子が生き生きと伝わるような授業にしたい。

本授業では、人々の生活に根ざす宗教の学習を行う。世界には様々な宗教や宗教とかがわりの深い生活が営まれていることを、日本の社会や自分たちの生活を踏まえて理解させたい。また、世界的に広がる宗教の分布を、主題図から読み取るとともに、それらの広がりを大まかに把握させたい。この学習を通して世界の多様性をより深く考えさせたい。

(2) 指導内容の系統

小学校 3 学年	小学校 4 学年	小学校 5 学年	小学校 6 学年	中学校 1 学年
わたしたちのまち みんなのまち ・身近な地域 かわってきた人々の暮らし ・道具と暮らし	わたしたちの県 ・特色のある地域 きょうどをひらく ・開発・発展	わたしたちの国土 ・さまざまなくらし わたしたちの生活と環境 ・国土の自然	世界の中の日本 ・日本とつながりの深い国々	世界各地の人々の生活と環境 ・世界の人々の生活や環境

(3) 生徒の実態

男子14名、女子12名計26名の学級である。全般的に社会科の学習に意欲を持って取り組んでいるが、小学校で既習の歴史学習を好む者が多く、世界地理は暗記が苦手と敬遠する者が一定数存在する。学習形態では、グループで考えることをほとんどの者が好きと答えている。本時は、宗教と人々の生活という想像力が大いに喚起されないと理解が難しい題材なので、グループでの話し合いの中でイメージをふくらませることができるよう授業を組み立てていきたい。

4 単元の目標

- (1) 人々の生活と環境とのかかわりや、様々な条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解するとともに、異なる文化を尊重する態度を身につけようとする。（関心、意欲、態度）
- (2) 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、人々の生活の様子とその変容を基に自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程や結果を発表などで適切に表現できる。（思考、判断、表現）
- (3) 写真や統計資料、文献などの様々な資料から、自然環境の違いや社会的条件の違いに関する有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表にまとめることができる。（資料活用 of 技能）
- (4) 世界各地には、様々な宗教やその広がり、宗教とのかかわりの深い生活が営まれていることを大まかに把握し、具体的に説明できる知識を身につけることができる。（知識・理解）

5 指導計画（9時間扱い）

時間	学習内容	学習目標
1	雪と氷の中でくらす人々	自然環境の異なる地域の人々の生活を写真や映像資料などで追究し、世界地理の学習に興味や関心を高めることができる。
2	寒暖の差が激しい土地にくらす人々	写真や映像資料、雨温図などから、日本の自然環境との違いを読めるみ取ることができる。
3	温暖な土地にくらす人々	自然環境や人々の暮らしを日本との比較で追究し、どんな違いや共通点があるかを考察できる。
4	乾燥した土地にくらす人々	自然環境や人々の暮らしについて、雨温図、その他の資料から、その特色を読み取ることができる。
5	常夏の島でくらす人々	日本の自然環境と異なる地域の人々の生活を、様々な資料、特に農産物や食生活などからとらえることができる。
6	山にくらす人々	高地に暮らす人々の生活は、自然環境に適したどのような暮らしをしているかを追究し関心を持つことができる。
7	低い土地にくらす人々	自然条件や社会条件の異なる社会での暮らしに関心を持ち、日本との比較で追究し、その文化の違いを理解し尊重できる。
8 本時	人々の生活に根ざす宗教	世界には様々な宗教や宗教とかがわりの深い生活が営まれていることを、日本社会を踏まえて理解できる。
9	伝統的な生活とその変化	世界の各地域では、その地域の環境に適した社会や暮らしが営まれていることを、自然環境や社会環境の違いを踏まえて理解できる。

6 本時の指導（8／9）

（1）目標

- ①世界には様々な宗教や宗教とかがわりの深い生活が営まれていることを、日本社会を踏まえて理解できる。（知識・理解）
- ②世界的に広がる宗教の分布を、主題図から読み取り、それらの広がりを大まかに把握する。（資料活用の技能）

（2）仮説との関連

—— 教科の研究仮説 ——

社会的な事象の読み取りや資料の読み取りにおいて、生徒相互の意見を交換することにより、お互いの表現力が向上すると共に学ぶ意欲も向上することができるであろう。

本時の授業では、日本人にとって解りづらい宗教や宗教とかがわりの深い生活について、日本社会をふまえて理解させる。イメージしにくい事象だからこそ生徒一人一人の意見を交換させる中で、多角的に宗教や宗教とかがわりの深い生活について理解させ、表現力や学習意欲の向上につなげたい。

（3）展開

学習内容と生徒の活動	時配 (形態)	指導上の留意点・支援と評価 (△印は評価)	資料等

<p>1 資料を見て何に対して祈っているのか話し合う。</p> <p>2 主題図を読み取り課題について班で話し合う。</p> <p>①キリスト教はどのあたりに広く分布しているか。</p> <p>②イスラム教がおもに信仰されている州はどこか。</p> <p>③仏教とヒンドゥー教とでは、どちらの信仰者が多いのか予想する。</p> <p>3 世界の三大宗教と特定の地域で信仰されている宗教についてまとめる。</p>	<p>5分 (一斉)</p> <p>15分 (班)</p> <p>5分 (一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの生徒の発表内容を尊重する。</li> <li>違いばかりでなく、共通点にも着目させたい。</li> <li>分布図とは何か、それをどう読み取るべきかを説明する。</li> <li>この単元で学習してきた7つの事例地域の宗教を確認する。</li> <li>③の問いを通して、この地図では人口の実数がわからないことを確認する。</li> </ul> <p>△世界的に広がる宗教の分布を、主題図から読み取ることができる。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班内で予想を発表し合うことができるよう支援する。</li> </ul>	<p>教科書写真1～4</p> <p>主題図(教科書)</p>
<p>宗教を深く信じる人たちの生活の様子はどのようなものなのだろうか。</p>			
<p>4 宗教に根ざした生活に関する事例を各宗教ごとに分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラマダーン(断食月)には日の出から日の入りまで、一切水も食べ物も口にしない。</li> <li>・アメリカ合衆国の半分の人はこの宗教を信じている。</li> <li>・人生が苦であることを悟りその苦から脱する方法を説いたシャカの教えを大切にしている。</li> </ul>	<p>20分 (班)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な人々の生活を記述したものを用意すると共に既習の内容も用意し、分類することにより学習内容が整理されるよう工夫する。</li> <li>他の生徒の意見を踏まえて自分の考えをふくらませていくことができるよう支援する。</li> <li>対人関係が苦手なNo19の生徒には、机間巡視を行い様子によっては助言を行う。</li> </ul> <p>△世界には様々な宗教や宗教とかわりの深い生活が営まれていることを、自分たちの生活を踏まえて話し合うことができる。(観察)</p>	<p>事例や人物等が書かれたカード</p>
<p>5 学習をまとめる。</p>	<p>5分 (一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分類を確認する。</li> </ul>	<p>大きなカード</p>